

平成26年度 学校経営方針

はじめに

(1) 平成26年度「学校教育の重点」（京都市教育委員会）について

I. 京都市のすべての学校教職員が共有すべき3つの像

「子ども像」…伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども
 「教職員像」…確かなビジョンと力量を持つ教職員
 「学校像」……市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核となる学校

II. 京都市のすべての学校で一致して取り組むべき重点項目

○つけたい力を明確にした「言語活動」
 ○自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」

(2) 八瀬小学校の学校づくりをすすめる上で

① 教育の目的

子どもたち一人一人の可能性を十分に発揮させ、豊かな人間性を育て、だれもが幸せに生きていくことができる自立した人間を育てていくこと。

② 学校づくりの基盤として 「人権教育を進めるにあたって」（平成22年3月）

- i) 人権としての教育…教育を受けること自体が重要な人権であるという認識に立って、就学の機会均等の保障はもとより、子どもたちの「生きる力※」を培う豊かな教育を受けることが、保障されているか。（※知・徳・体のバランスのとれた力）
- ii) 人権を通しての教育…学校教育全体を通して、子どもたちが人権の大切さを日常的に感じながら、学習することができる環境を学校や学級において作り出すことができているか。
- iii) 人権についての教育…子どもたちが人権についての理解・認識を深め、人権を守る意欲や態度を育むとともに、人権にかかわる問題解決のために行動できる力を培うことができているか。
- iv) 人権のための教育…学校教育活動全体を通して、すべての人々の人権が尊重される社会を実現し、その社会を担い得る人間として成長する子どもの育成をめざす教育実践が行われているか。

1. 学校教育目標

『心身共に豊かでたくましく生きる子どもの育成、地域と共に歩む学校』

〈めざす子ども像〉……伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り開く子ども
「何事にもチャレンジする八瀬の子」

チ：力を合わせてがんばる子

ヤ：やさしく思いやりのある子

シ：練習を続ける子

ソ：運動大好き、元気な子

ジ：自分から学び行動する子

2. めざす学校像……市民ぐるみ・地域ぐるみの教育の核となる学校

- (1) 一人一人を徹底的に大切にする学校
- (2) 子どもに「学力」や「生きる力」をつける学校
- (3) 小さな学校の大きな挑戦 音楽あふれる学校
- (4) 保護者・地域と連携・協働する学校

3. めざす教職員像……確かなビジョンと力量を持つ教職員

- (1) 子どもの幸福や自立を願い、愛情を持って関わる教職員
- (2) 自らの専門性を高め、互いに切磋琢磨する教職員
- (3) 共に学び、協力し合う教職員
- (4) 家庭・地域と連携・協働する教職員

4. 学校教育目標の具現化に向けて

“自分の目標を持ち、何事にも粘り強くチャレンジするたくましい子を育てる”

- (1) 豊かな心で、やさしく、思いやりのある子（心づくり）
 - ① 自分も人も大事にする子
 - ・ あいさつのできる子
 - ・ きまりが守れる子
 - ・ 相手の気持ちが考えられる子
 - ・ もの（自分のもの、学校のもの、命あるもの）を大切にする子
 - ② 高学年がリーダーとなり、力を合わせてがんばる子
 - ・ 下級生のあこがれとなる高学年の子（リーダーの自覚）
 - ・ グループのきまりや約束を守り、協力する子（集団への帰属意識）
- (2) 確かな学力を身につけた子（学力づくり）
 - ① 自ら学び、行動する子（子どもたちの挑みと磨きを支える学校）
 - ② 努力（練習）を重ね、目標を達成する子
 - ③ 人の意見をしっかり聞き、自分の思いや考えを豊かに表現する子
- (3) 健やかな体で活動する子（体づくり）
 - ① 規則正しい生活ができる子
 - ② 自分の身を自分で守れる子
 - ③ 体育的行事を通した体づくりができる子（運動会、ランニング大会等）

(4) 地域に学び，地域と連携し合う学校

- ① 八瀬の伝統文化教育（葵祭り，赦免地踊りへの参加）
- ② 八瀬の地域体験（田植え・稲かり・餅つき大会・野菜作り等）
- ③ ふれあい土曜学習等への参加（ふれあい夏祭り，交通安全教室，お茶会，グランドゴルフ等）
- ④ 情報発信する学校 学校だより（地域版）の配布，HP の充実
- ⑤ グランドやプールの改修に向けた連携（P T A，地域と共に）

5. 研究教科

(1) 研究教科を「算数科」とし，研究教科を中心にすべての教科で言語活動の充実・コミュニケーション能力の育成を行う。

- ① 「子どもの考えを引き出し，思考を深める発問」
- ② 「子ども自らが，学習の課題を解決する主体的活動の場の設定」
(課題把握・自力解決・集団解決)
- ③ 「プレゼン，討論等工夫した発表の場の設定」
- ④ 「話すこと・聞くこと・書くことを重視した指導」（これまでの言語活動の充実）

(2) 子どもたちの実態から課題を見つける。

- ① 学力学習状況調査，プレジョイント，ジョイントプログラム，研究会テスト等の活用
- ② 実態に応じた指導法の改善
- ③ 本年度，算数科を研究教科とする（3 年次） 平成 2 7 年 1 月 3 0 日 研究発表会開催
研究主題 『思いや考えを深め，生き生きと学習する子』（平成 2 5 年度）
一進んで学習し，自分の考えを表現する子を育てるー

6. 日常的な取組

(1) 平常の普通授業の充実

- ① わかる授業・楽しい授業の創造と工夫
- ② 学力の基礎基本の確実な定着（読み，書き，計算）……反復練習（チャレンジタイムの活用）
- ③ 読書活動（1 0 0 冊読書の定着）……特に高学年
- ④ 音読，暗唱
- ⑤ 事典や辞書の活用
- ⑥ つまづきのある子への補充指導
- ⑦ 家庭学習，家庭読書の定着……自ら学ぶ子を育てるために

(2) 体験活動の充実

- ① 全校児童が音楽に親しむ
音楽活動…全校での合唱・合奏，音楽集会の実施
ふれあい祭り，大原ホーム等，発表会への参加
- ② 地域体験活動 \longleftrightarrow 一乗寺バザー出店（小中連携） \longleftrightarrow 生き方探求教育の実践

(3) 部活動等への参加（切り絵教室は木曜日に施行予定）

- 卓球，バスケットの指導体制の確立

《参考 平成25年度の取組》

	月	火	水	木	金
放課後まなび 教室	○	○	○		○
部活動等		卓球	金管バンド	灯籠教室	バスケット

放課後まなび教室 低学年 14:30～15:30 高学年 15:30～17:00 ※冬時刻時 15:30～16:30

部活動 15:30～17:00 ※冬時刻時 15:30～16:30

灯籠教室 15:00～16:00 (地域指導者)

7. 地域連携

- (1) 登下校の見守り活動…PTA中心 子ども見守り隊の充実(依頼)
- (2) 生活科・総合的な学習、社会科等における地域学習への支援…ゲストティーチャーのリスト作り
- (3) 放課後まなび教室…地域スタッフと学校との連携(宿題・家庭学習の定着等)
- (4) 伝統文化教育や地域行事等の体験活動
 - ① 灯籠教室…木曜日放課後実施(八瀬郷土文化保存会)
 - ② 赦免地踊りの伝承、葵祭への参加 (八瀬童子会や八瀬郷土文化保存会との連携)
 - ③ 農業体験…畑作・稲作体験、もちつき体験(地域やPTAとの協力)
 - ④ 環境教育…地域に目を向けた活動(八瀬小独自のものを作り上げる)
 - ⑤ ふれあい祭り夕焼けコンサート(自治連合会主催)への参加…本年度は3～6年生の参加
- (5) グランド・プール改修工事

学校運営協議会、PTA、自治連合会等との連携

8. 家庭学習の充実

- (1) 自学自習の習慣づけ、個に応じた内容と保護者や家庭との連携
- (2) 家庭での学習時間の確保 少なくとも「学年×15分」
- (3) 1年間を通して継続した取組に
- (4) 放課後まなび教室との連携 (音読カードは、保護者が記入)

9. 教育環境の整備

きれいな学校、学習環境の整備

- ① 重点教育活動に必要な教材教具等の整備
- ② 安全な教育活動のための整備
- ③ 普通教室、特別教室、職員室等の整理整頓(使えるものと使えないもの)
- ④ 各教科準備室の整備
- ⑤ PTAや地域の協力を得た新校舎の美化活動(子どもや教職員だけではできないところ)と
清掃用具の準備